

令和3年

火災・救急の概況

火 災

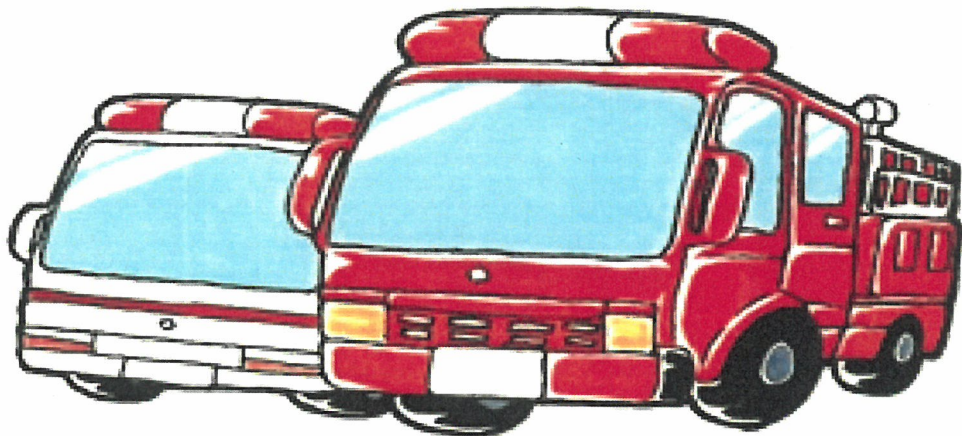
29件

大洲市 18件
内子町 11件

救 急

3,087件

大洲市 2,341件
内子町 741件
管轄外 5件



大洲地区広域消防事務組合

【大洲市・内子町】



火災の概況

1 火災概要（1表）

令和3年中に組合管内で発生した火災は29件で、建物焼損棟数46棟、建物焼損床面積1,917㎡、死者数3人、負傷者数5人、り災世帯数22世帯、り災人員47人、損害額66,748千円である。

前年と比較すると、死者数は2人増加している。出火件数については4件増加、焼損棟数は16棟増加、建物焼損床面積は885㎡増加、り災世帯数は12世帯増加、り災人員は20人増加、損害額は913千円減少している。

2 出火件数

出火件数は29件で、前年と比べて4件増加しており、1ヶ月あたり約2.4件の割合で火災が発生している。

(1) 市町別出火件数（2・3表）

市町別出火件数は、大洲市18件（内訳：大洲11件、長浜6件、肱川1件、河辺0件）、内子町11件（内訳：内子4件、五十崎6件、小田1件）である。

(2) 火災種別（2・4・10表）

火災種別にみると、建物火災が17件（全火災の約58.7%）で最も多く、林野火災が5件（約17.2%）、その他の火災が5件（約17.2%）、車両火災が2件（約6.9%）である。

なお、建物火災17件を用途別にみると、住宅が4件、作業場・乾燥場が3件、倉庫・納屋・物置が3件、養護老人ホーム・宿泊施設・飲食店が各1件、その他が4件である。

(3) 四季別出火件数（5表）

四季別出火件数は、12月から2月の冬季における火災が11件、春季、夏季、秋季がそれぞれ6件である。

3 出火率（6表）

出火率（人口1万人あたりの出火件数）は5.08件であり、令和2年と比べると0.78件増加している。

4 損害額（1・7表）

損害額は、66,748千円で前年より913千円減少している。内訳は、建物の損害額が大半を占めている。また、1件あたりの損害額は、約2,302千円であり、前年の2,706千円と比較すると404千円減少している。

5 出火原因（8表）

出火原因別にみると、総出火件数29件のうち、「たき火・枯れ草焼き」と「不明」による出火がそれぞれ6件で最も多い。次いで「火のついたゴミ」、「火の粉」、「配線・コード」、「電化製品・電池」が各2件、その他の原因が各1件である。

6 初期消火対応（9表）

火災初期における消火活動と、その効果の有無については、総出火件数29件のうち初期消火を試みたものは20件あり、このうち初期消火によって大事に至らなかった火災は10件である。

また、初期消火に効果のあったものは、「消火器」が6件、「その他」が2件、「水道、浴槽等の水をかけた」、「消火栓」がそれぞれ1件である。

7 死傷者（1・11表）

死傷者は、火災による死者が3人で、前年に比べ2人増加している。また、負傷者は1人増加し5人である。

8 まとめ

以上、令和3年中の火災概況であるが、出火件数、死傷者数、り災人員が増えており、住宅火災における初期消火の効果が十分でなかったことが考えられる。

また、全国では不特定多数の人が出入りする施設等の火災が発生しており、多くの死傷者がでている。

このことから、防火対策の取り組みとして、事業所には火気使用設備や電気器具の維持管理及び避難訓練の実施を徹底するよう責任者に指導する必要がある。

さらに、住民に対しては、住宅火災による死傷者の低減や被害の軽減を図るため、正しい初期消火要領や住宅用火災警報器の設置、維持管理、また、たき火を行う際の消火用具の準備をより強く呼びかけるとともに、各地域における自主防災組織等の協力を得て、住民を主体とした防火講習会や防災訓練等を行い、防火意識の更なる高揚を図る必要がある。

※ 数値については、速報値です。

1表 火災の概況

区 分	単位	令和3年	令和2年	増減数
出 火 件 数	件	29	25	4
建 物	〃	17	20	▲ 3
林 野	〃	5	2	3
車 両	〃	2	0	2
船 舶	〃	0	0	0
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	5	3	2
焼 損 棟 数	棟	46	30	16
全 焼	〃	20	12	8
半 焼	〃	0	1	▲ 1
部 分 焼	〃	20	10	10
ぼ や	〃	6	7	▲ 1
建物焼損床面積	m ²	1,917	1,032	885
建物焼損表面積	m ²	223	44	179
林野焼損面積	a	88	7	81
死 者	人	3	1	2
負 傷 者	〃	5	4	1
30日死者	〃	0	0	0
り災世帯数	世帯	22	10	12
全 損	〃	3	4	▲ 1
半 損	〃	2	0	2
小 損	〃	17	6	11
り災人員	人	47	27	20
損 害 額	千円	66,748	67,661	▲ 913
建 物	〃	65,773	67,661	▲ 1,888
林 野	〃	557	0	557
車 両	〃	318	0	318
船 舶	〃	0	0	0
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	100	0	100
爆発損害額	千円	0	0	0

※ ▲は減

2表 市町別火災状況

区分 市町別	火災種別						焼損面積			死傷者			焼損棟数	り災世帯数	損害額(千円)	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物床面積(m ²)	建物表面積(m ²)	林野(a)	死者	負傷者	30日死者			総額	うち 建物損害
大洲	11	8	1	1		1	1,281	174	10	1	3		31	18	50,404	50,146
長浜	6	3		1		2	6	45					4		6,821	6,661
肱川	1		1						38		1				557	0
河辺															0	0
小計	18	11	2	2		3	1,287	219	48		4		35	18	57,782	56,807
内子	4	1	2			1	293		37				3	1	4,390	4,390
五十崎	6	4	1			1	337	1	3		1		7	2	4,546	4,546
小田	1	1						3					1	1	30	30
小計	11	6	3			2	630	4	40		1		11	4	8,966	8,966
合計	29	17	5	2		5	1,917	223	88		3		46	22	66,748	65,773

建物損害 = 建物損害額 + 収容物損害額

3表 市町別月別出火状況

年別・市町別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
令和3年	大洲	1	1		2	1	2			1	2	1	11
	長浜	2				1	1		1				6
	肱川			1									1
	河辺												
	内子		2		1		1						4
	五十崎		3				1	1	1				6
小田	1											1	
合計	4	6	1	3	2	4	1	1	2	2	2	1	29

年別・市町別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
令和2年	大洲		1	2			1	3		1		2	10
	長浜					1	2				1		4
	肱川			1				1					2
	河辺					1							1
	内子		1							1			2
	五十崎			1	1		1	2		1			5
小田	1											1	
合計	1	2	3	3	3	3	2	5	3	3	1	2	25

4表 火災種別出火件数の構成割合 (%)

区 分	令和3年	令和2年
建 物 火 災	58.7	80.0
林 野 火 災	17.2	8.0
車 両 火 災	6.9	0.0
船 舶 火 災	0.0	0.0
航 空 機 火 災	0.0	0.0
そ の 他 の 火 災	17.2	12.0
合 計	100.0	100.0

5表 四季別出火状況

年 別 月 別	令和3年				令和2年			
	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
春 季 3月～5月	6	20.7	6,095	9.1	6	24.0	16,349	24.2
夏 季 6月～8月	6	20.7	5,042	7.6	10	40.0	15,816	23.3
秋 季 9月～11月	6	20.7	26,785	40.1	4	16.0	30,363	44.9
冬 季 12月～2月	11	37.9	28,826	43.2	5	20.0	5,133	7.6
合 計	29	100.0	66,748	100.0	25	100.0	67,661	100.0

6表 出火率・出火件数・人口・世帯数調

区 分		実 数		増減数		
		令和3年	令和2年			
大洲地区 広域消防 事務組合	出 火 率	5.08	4.30	0.78		
	出 火 件 数	29	25	4		
	うち建物火災	17	20	▲ 3		
	人 口	57,058	58,060	▲ 1,002		
	世 帯 数	26,817	26,915	▲ 98		
大洲市	大洲	出 火 率	3.35	3.00	0.35	
		出 火 件 数	11	10	1	
		うち建物火災	8	6	2	
		人 口	32,877	33,341	▲ 464	
	長浜	世 帯 数	15,472	15,493	▲ 21	
		出 火 率	10.08	6.53	3.55	
		出 火 件 数	6	4	2	
		うち建物火災	3	4	▲ 1	
	肱川	人 口	5,953	6,129	▲ 176	
		世 帯 数	3,027	3,071	▲ 44	
		出 火 率	5.30	10.40	▲ 5.10	
		出 火 件 数	1	2	▲ 1	
	河辺	うち建物火災	0	2	▲ 2	
		人 口	1,886	1,923	▲ 37	
		世 帯 数	895	895	0	
		出 火 率	0.00	16.37	▲ 16.37	
	内子町	内子	出 火 件 数	0	1	▲ 1
			うち建物火災	0	1	▲ 1
			人 口	584	611	▲ 27
			世 帯 数	350	359	▲ 9
五十崎		出 火 率	4.59	2.25	2.34	
		出 火 件 数	4	2	2	
		うち建物火災	1	2	▲ 1	
		人 口	8,722	8,876	▲ 154	
小田		世 帯 数	3,881	3,900	▲ 19	
		出 火 率	11.96	9.80	2.16	
		出 火 件 数	6	5	1	
		うち建物火災	4	4	0	
	人 口	5,015	5,102	▲ 87		
	世 帯 数	2,140	2,138	2		
	出 火 率	4.95	4.81	0.14		
	出 火 件 数	1	1	0		
	うち建物火災	1	1	0		
	人 口	2,021	2,078	▲ 57		
	世 帯 数	1,052	1,059	▲ 7		

※ ▲は減

※ 人口は令和3年12月31日現在の住民基本台帳によるもの。

7表 出火件数及び損害額の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損 害 額 (千円)	1件あたりの損害額 (千円)
平成24年	31	24,976	806
平成25年	31	23,912	771
平成26年	27	33,803	1,252
平成27年	26	21,300	819
平成28年	24	30,829	1,285
平成29年	27	53,243	1,972
平成30年	26	38,349	1,475
令和元年	14	29,927	2,138
令和2年	25	67,661	2,706
令和3年	29	66,748	2,302

8表 出火原因別件数及び損害額

区 分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
たき火・枯れ草焼き	6	20.7	557	0.8
火のついたゴミ	2	7.0	1,559	2.3
火 の 粉	2	7.0	5,411	8.1
配線・コード	2	7.0	1,683	2.5
電化製品・電池	2	7.0	56	0.1
その他の高温の個体	1	3.4	1,200	1.8
風呂かまど	1	3.4	30	0.1
火のついた油	1	3.4	8	0.1
排 気 管	1	3.4	258	0.4
放 火	1	3.4	100	0.1
たばこ	1	3.4	270	0.4
ライター	1	3.4	22,898	34.3
七輪こんろ	1	3.4	22,322	33.4
ローソク	1	3.4	3,042	4.6
不 明	6	20.7	7,354	11.0
合 計	29	100.0	66,748	100.0

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

9表 初期消火の対応状況

効果	消火器具別			消火器	消火栓	その他	合計
	水道、浴槽等の水をかけた						
効果有	1	6	1	2	10		
効果無	4	2	0	4	10		

10表 建物火災の火元用途別の出火状況

用途別 年別	住宅 (併用含む)	作業場 乾燥場	倉庫 納屋 物置	養護老人 ホーム	宿泊施設	飲食店	その他	計
令和3年	4	3	3	1	1	1	4	17
令和2年	8	7	3	0	0	0	2	20

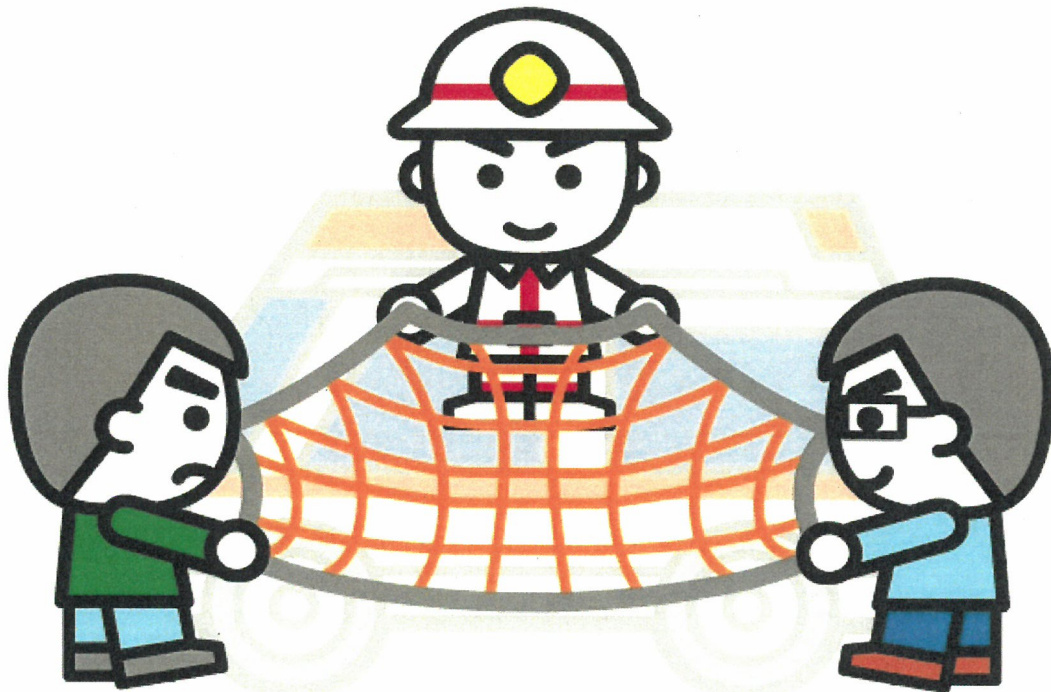
11表 死傷者の区分

区分	死者	負傷者	30日死者
消防吏員	0	0	0
消防団員	0	1	0
応急消火義務者	3	4	0
消防協力者	0	0	0
その他の者	0	0	0
合計	3	5	0

※ 30日死者とは、火災による負傷後48時間以上30日以内の死者。

次のページから救急の概況

救急車は地域を守る セーフティネット



全国救急受診アプリ「Q助」

消防庁では、住民による緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受信手段の情報を提供するため全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）の提供を開始しました。

スマートフォン版（Apple、Google）、Web版があります。

https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html

※スマートフォン版のダウンロード容量は2MBで、使用するときの通信料はかかりません。

令和3年の救急概況

1 救急業務状況（1表）

令和3年中における救急業務の実施状況は、出場件数3,087件（前年比71件減）、搬送人員2,929人（前年比69人減）であり、前年と比較して件数、搬送人員ともに減少している。

また、組合に配置している救急車6台すべてが高規格救急車であり、すべてに救急救命士が出動している。

2 事故種別救急概要（2・3表）

事故種別出動件数は、急病1,799件、その他（主に転院搬送）555件、一般負傷505件で出動件数の9割以上を占めている。前年と比較すると、火災2件、水難1件、運動競技5件、一般負傷22件、自損行為12件が増加しており、交通事故15件、労働災害2件、加害1件、急病24件、その他71件が減少している。

3 市町別救急業務状況（4表）

市町別救急件数は、大洲市が全体の75.8%（2,341件）、内子町が24.0%（741件）、管轄外が0.2%（5件）である。

内訳は、大洲1,790件、長浜399件、肱川114件、河辺38件、内子399件、五十崎218件、小田124件である。

4 時間帯別救急状況（5表）

時間帯別の救急件数は、最も多い時間帯が午前10時から12時の間の457件であり、逆に少ない時間帯は、午前2時から4時の98件である。午前と午後で比較すると午前が1,421件、午後が1,666件と午後の方が多い件数である。

5 月別曜日別救急状況（6表）

月別の救急件数は、12月の294件が最も多く（前年は1月の315件）、最も少ない月は6月の218件（前年は4月の218件）である。

また、曜日別の救急件数は、月曜日の497件が最も多く（前年も月曜日の504件）、最も少ないのは日曜日の410件（前年は土曜日の401件）である。

6 応急処置状況（7表）

救急隊員が行った応急処置の状況は、血中酸素飽和度測定、血圧測定、その他の応急処置（検温等）、保温の頻度が高い。

救急救命士が行う救急救命処置は、ラリングアルマスク等を用いた気道確保26件、気管挿管7件、薬剤投与8件を実施している。

また、平成28年6月1日から処置範囲が拡大された処置のうち、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液は7件、血糖測定は14件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与は3件である。

7 医療機関別搬送人員状況（8表）

収容医療機関の状況は、搬送人員の79.0%（2,313人）を管内の医療機関に搬送しており、うち、98.7%（2,284人）は救急告示病院に搬送している。

また、管外医療機関への搬送は616人であり、その51.0%に当たる314人はその他（主に転院搬送）によるものである。

8 市町別人口割救急出場状況（9表）

市町別人口割救急状況は、人口1,000人当りの救急発生件数を比較すると、最も発生件数が高いのは長浜の67件、次いで河辺65件、小田61件、肱川60件、大洲54件、内子46件であり、最も低いのは五十崎の43件である。

9 高齢者事故種別搬送人員状況（10表）

高齢者（「年齢65歳以上の者」をいう。）に関する救急状況は、搬送人員2,147人で昨年に比べて45人減少しており、全搬送人員の73.3%を占めている。

また、事故種別で見ると、急病1,269人、その他（主に転院搬送）400人、一般負傷397人の順であり、交通事故は67人と前年と比べて8人減少している。

10 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況（11表）

高齢者急病の疾病分類は、その他を除くと心疾患の163人（12.8%）が最も多く、次いで呼吸器系が152人（12.0%）、脳疾患121人（9.5%）、消化器系119人（9.4%）の順である。

1 1 まとめ

以上、令和3年中の救急概況であるが、前年と比べて出場件数が71件減少しており、令和元年以降減少傾向にあるものの、依然として3,000件を超える出場件数である。

特に、救急出場件数の事故種別で減少しているのは、その他（主に転院搬送）が前年と比べ71件減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響も減少した一つの要因であると考えられる。

救急出場件数は、時間帯では午後、月別件数は12月、曜日別件数は、月曜日が多い状況であり、このことから、生活の習慣として気ぜわしく行動を要する季節や時間帯等に救急要請が多くなっている。

さらに、高齢者（「年齢65歳以上の者」をいう）は、2,147人搬送しており、全搬送人員の73.3%を占めている状況である。

今後、ますます高齢者の救急搬送は増加し、重症度の割合も増えることが懸念されることから、より一層、救急車の適正利用について救命講習会や広報媒体等を利用して住民に呼びかけ、一人でも多くの命が救えるよう救命率の向上に努める必要がある。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため、出動準備時間が延長し、必然的に現場到着に時間を要する事案もあった。このことから、感染防止対策を徹底するとともに、出動準備時間の短縮に努める。

1表 年別救急業務状況

区分 年別	出場件数						搬送人員					
	合計	大洲消防署本署	長浜支署	川上支署	内子消防署本署	小田出張所	合計	大洲消防署本署	長浜支署	川上支署	内子消防署本署	小田出張所
令和3年	3,087	1,721	399	201	620	146	2,929	1,636	381	190	586	136
令和2年	3,158	1,773	374	204	648	159	2,998	1,681	355	188	624	150
昨年比増減	▲ 71	▲ 52	25	▲ 3	▲ 28	▲ 13	▲ 69	▲ 45	26	2	▲ 38	▲ 14
							▲ 45	▲ 24	14	4	▲ 14	▲ 25

※ ▲は減

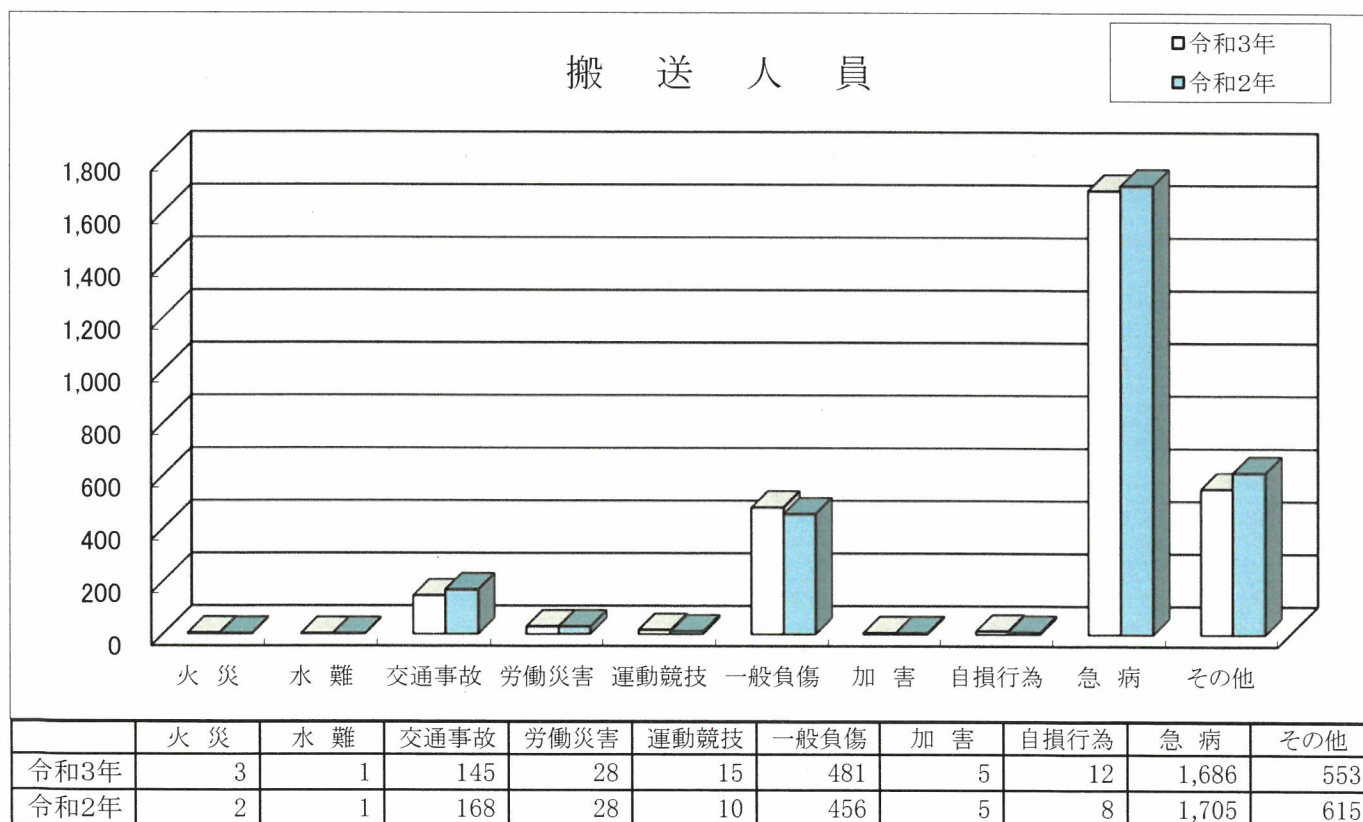
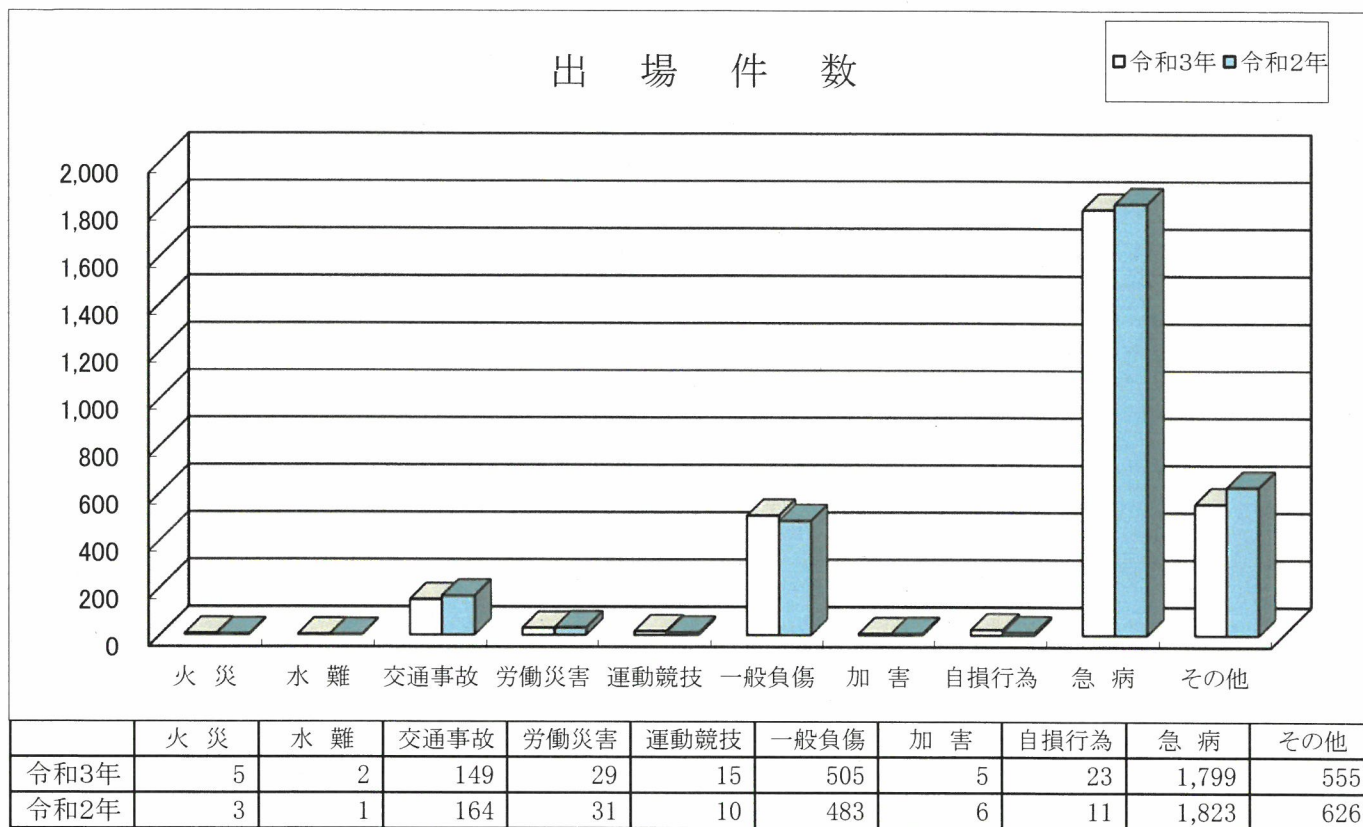
下段の数値は65歳以上

2表 事故種別の救急概要

区分 事故種別	組				合				令和3年											
	出場件数		搬送人員		増減	令和3年	令和2年	増減	大洲1		大洲2		長浜		川上		内子		小田	
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年					出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	増減	令和3年	令和2年	増減	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
急病	1,799	1,823	▲24	1,686	1,705	▲19	754	708	152	140	274	255	118	112	408	384	93	87		
一般負傷	505	483	22	481	456	25	205	193	35	33	80	79	34	31	115	110	36	35		
交通事故	149	164	▲15	145	168	▲23	54	53	18	14	24	27	9	8	36	35	8	8		
自損行為	23	11	12	12	8	4	7	4	3	1	0	0	2	1	9	6	2	0		
労働災害	29	31	▲2	28	28	0	10	10	6	6	2	1	3	3	3	3	5	5		
運動競技	15	10	5	15	10	5	10	10	2	2	1	1	0	0	2	2	0	0		
加害	5	6	▲1	5	5	0	4	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
火災	5	3	2	3	2	1	3	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0		
水難	2	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
その他	555	626	▲71	553	615	▲62	234	232	222	222	18	18	35	35	45	45	1	1		
合計	3,087	3,158	▲71	2,929	2,998	▲69	1,282	1,217	439	419	399	381	201	190	620	586	146	136		

※ ▲は減

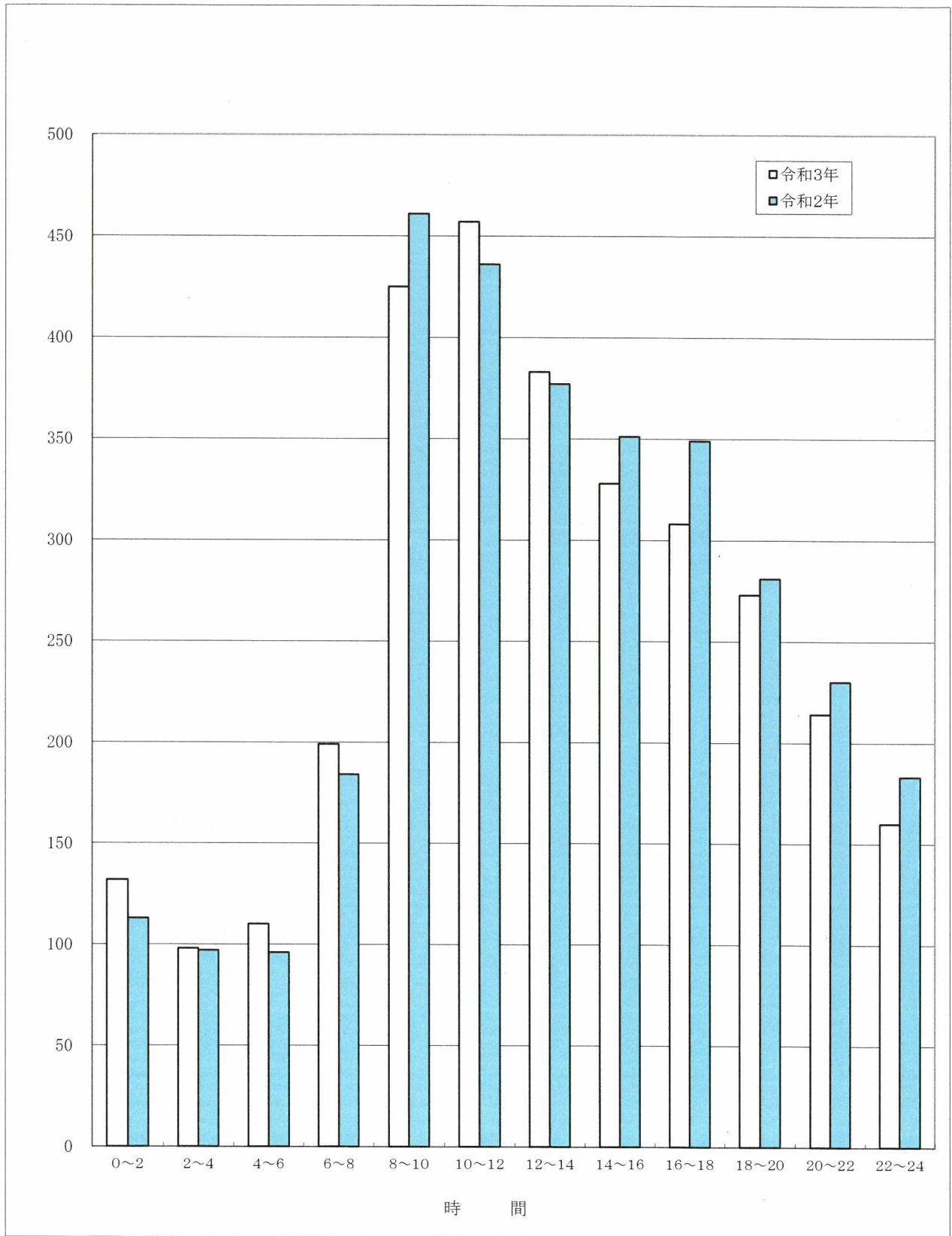
3表 事故種別出場件数・搬送人員



4表 市町別救急業務状況

市町 事故種別	組合	大洲市				内子町			管轄外
		大洲	長浜	肱川	河辺	内子	五十崎	小田	
	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数
	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員
急病	1,799	939	265	80	25	255	146	86	3
	1,686	879	246	79	22	242	135	81	2
一般負傷	505	240	84	24	8	76	43	30	0
	481	228	82	22	7	73	40	29	0
交通事故	149	71	27	4	2	27	13	3	2
	145	71	30	3	2	25	11	3	0
自損行為	23	8	0	2	1	9	3	0	0
	12	5	0	1	0	6	0	0	0
労働災害	29	16	2	3	0	2	2	4	0
	28	16	1	3	0	2	2	4	0
運動競技	15	12	1	0	0	0	2	0	0
	15	12	1	0	0	0	2	0	0
加害	5	5	0	0	0	0	0	0	0
	5	5	0	0	0	0	0	0	0
火災	5	2	1	1	0	0	1	0	0
	3	1	0	1	0	0	1	0	0
水難	2	1	0	0	0	0	0	1	0
	1	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	555	496	19	0	2	30	8	0	0
	553	494	19	0	2	30	8	0	0
合計	3,087	1,790	399	114	38	399	218	124	5
	2,929	1,712	379	109	33	378	199	117	2

5表 時間帯別救急出場件数



時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
令和3年	132	98	110	199	425	457	383	328	308	273	214	160
令和2年	113	97	96	184	461	436	377	351	349	281	230	183

6表 月別曜日別救急出場状況

曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	合計
1月	43	35	39	35	29	37	45	263
2月	40	38	27	30	30	29	35	229
3月	29	51	48	34	33	37	23	255
4月	29	41	32	36	52	45	30	265
5月	33	48	38	31	26	34	35	245
6月	30	29	38	39	26	25	31	218
7月	32	48	29	25	42	41	47	264
8月	43	45	54	24	21	43	32	262
9月	28	27	46	35	46	28	31	241
10月	42	40	39	45	35	47	40	288
11月	29	53	47	39	29	38	28	263
12月	32	42	33	47	49	44	47	294
合計	410	497	470	420	418	448	424	3,087

7表 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員 処置項目	1,686	145	481	617	2,929
止血	10	16	54	10	90
固定	40	61	166	40	307
人工呼吸	26	1	3	2	32
心マッサージ	15	0	3	2	20
うち自動	8	0	1	2	11
心肺蘇生	40	4	5	4	53
うち自動	22	0	0	2	24
酸素吸入	427	21	38	189	675
気道確保	63	4	8	6	81
うち経鼻	0	0	0	0	0
うち異物除去	1	0	2	0	3
ラリングアルマスク等	22	3	0	1	26
気管挿管	5	0	2	0	7
保温	1,179	67	292	470	2,008
被覆	9	27	78	13	127
在宅療法継続	5	0	0	0	5
点滴処置	0	0	0	0	0
外傷処置	1	0	0	0	1
その他	4	0	0	0	4
除細動	4	0	0	0	4
静脈路確保	心肺機能停止前	5	0	2	7
	心肺機能停止後	17	2	3	23
	ブドウ糖投与	3	0	0	3
血糖測定	14	0	0	0	14
ブドウ糖溶液投与	3	0	0	0	3
薬剤投与	5	1	1	1	8
その他の応急処置	1,663	137	476	603	2,879
血圧測定	1,626	139	473	607	2,845
聴診器による聴取	321	25	46	30	422
血中酸素飽和度測定	1,635	140	474	612	2,861
心電図	547	15	36	141	739
合計	7,657	660	2,158	2,731	13,206

8表 事故種別医療機関別搬送人員状況

告示開設者別		事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
				うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外		
救急告示医療機関	国立	6	6	1	1	1	1	1	19	19	27	27	
	公立	616	189	61	18	160	42	42	215	146	1,052	395	
	公的	12	12			1	1	1	48	48	61	61	
	私病院	1,013	6	79	1	312			234	4	1,638	11	
	私的												
	診所												
	計	1,647	213	141	20	474	44	44	516	217	2,778	494	
その他の医療機関	国立	1	1						7	7	8	8	
	公立	10	9	4	4	6	6	6	86	86	106	105	
	公的	1	1								1	1	
	私病院	3	2						3	3	6	5	
	私的	24	1			1	1	1	5	1	30	3	
	診所												
	計	39	14	4	4	7	7	7	101	97	151	122	
計	国立	7	7	1	1	1	1	1	26	26	35	35	
	公立	626	198	65	22	166	48	48	301	232	1,158	500	
	公的	13	13			1	1	1	48	48	62	62	
	私病院	1,016	8	79	1	312			237	7	1,644	16	
	私的	24	1			1	1	1	5	1	30	3	
	診所												
	計	1,686	227	145	24	481	51	51	617	314	2,929	616	
その他の場所	接骨院												
	その他												
	計												
	合計	1,686	227	145	24	481	51	51	617	314	2,929	616	

9表 市町別人口割救急出場状況

(人口は12月末現在)

市町	区分	人口 (人)	出場件数 (件)	搬送人員 (人)	人口1,000人当りの発生件数(件)
大洲市	大洲	32,877	1,790	1,712	54
	長浜	5,953	399	379	67
	肱川	1,886	114	109	60
	河辺	584	38	33	65
内子町	内子	8,722	399	378	46
	五十崎	5,015	218	199	43
	小田	2,021	124	117	61
組合管内	57,058	3,082	2,927	54	
管轄外			2		
合計			3,087	2,929	

10表 発生場所別高齢者事故種別搬送人員状況

市 町 区 分	事 故 種 別										合 計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病		そ の 他
大 洲 市	1	0	0	28	5	0	181	1	1	632	352	1,201
長 浜 市	0	0	0	17	0	0	72	0	0	196	17	302
大 洲 市	0	0	0	3	1	0	19	0	1	62	0	86
河 辺 市	0	0	0	2	0	0	7	0	0	21	2	32
内 子 町	0	0	0	10	1	0	63	0	1	190	23	288
五 十 崎 町	0	0	0	6	1	0	34	0	0	99	6	146
小 田 町	0	0	0	1	1	0	21	0	0	69	0	92
その他(管轄外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	0	0	67	9	0	397	1	3	1,269	400	2,147

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。

11表 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

市町	疾病分類	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	合計
		大洲	58	76	58	80	8	40	23	21	268
長浜	16	22	23	23	3	11	15	4	79	196	
肱川	5	9	2	11	0	7	2	1	25	62	
河辺	1	7	2	4	0	1	2	0	4	21	
内子	19	26	22	15	2	7	9	7	83	190	
五十崎	11	14	6	13	1	7	7	2	38	99	
小田	11	9	6	6	1	4	1	4	27	69	
合計	121	163	119	152	15	77	59	39	524	1,269	

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。